

## 探究プログラムの成果①

### 食農体験プログラム「アニマドーレ」 北海道の食と農を 5感

2025年度は10期生を迎える節目となったアニマドーレ。毎年同じプログラムをくり返すのではなく、少しずつ進化をしています。

今年度は初心に戻り、改めてアニマドーレが大切にしたいことは何かをスタッフ全員で考えて実践した一年です。そこに参加してくれた高校生が、何を感じ、何に気づき、この先の人生にどのように繋がっていくのかなど、高校生が自分の言葉で語ります。



## 探究プログラムの成果②

### まちづくり体験プログラム さっぽろまなびまくり社 2025

今年度で6期目を迎えた「さっぽろまなびまくり社」です。ありがたいことに年々参加して下さる学校も生徒さんも増えて活動の幅が広がってきており、その活動を見て応援して下さる企業さんや個人の大人の方も増えて高校生と一緒に切磋琢磨してくださっています。

そんな今年度の真駒内での活動や大通公園でのPLACE MAKING CHALLENGEでの活動の報告をさせていただきます。生徒さん達それぞれの感想や心の変容などもお伝えできればと思います。



## 探究プログラムの成果③

### SCARTS×CoSTEPアート&サイエンスプロジェクト 「あかさかな」

#### アートとサイエンスで考える、魚と私たちの関係

今年度に始動した本プログラムは、SCARTSと北海道大学CoSTEPが連携し、アートとサイエンスを横断する学びの機会として実施しました。

「魚」を入口に、海洋環境や漁業をめぐる課題について、観察や表現、対話を通して多面的に考えました。

答えを導くことではなく、問いを立て、異なる視点から物事を捉えるプロセスを重視した全4回のプログラムです。参加した高校生からは、「新しい分野に触れるきっかけになった」など、視野の広がりを実感する声が寄せられています。



## 探究プログラムの成果④

### 起業教育プログラム「ミラスキ」

「ミラスキで学んだこと」  
ミラスキというイベントを通じて学んだこと。

今回のプレゼンテーションでは、「ミラスキで学んだこと」についてお話しします。ミラスキはアントレプレナーシップを学ぶプログラムで、私は2年連続で受講しました。

1年目の経験を活かしたことで、2年目はより深い学びが得られ、考え方も大きく変わりました。具体的な経験を交えながら、ミラスキがもたらした影響と今後の目標についてお話しします。



## 探究プログラムの成果⑤

### Nature in the City

宮崎 咲良

3/12~のポートランド派遣に向けて準備してきた探究活動の発表で、テーマは身近にある自然です。身近な自然を感じられる公園を札幌とポートランドほのそれぞれ有名な所を比較しました。

### How to Learn Languages Connected to Each Cultures

稲村 怜那

3月12日からのアメリカオレゴン州ポートランド派遣に向けて準備してきた探究活動の発表で、テーマはHow to Learn Languages Connected to Each Cultures/互いの文化と繋がる言語学習法です。日本語を勉強する外国人と、英語を勉強する日本人の共通点・相違点を比べて、それぞれが『楽しく学べる言語学習』を提案します！

